

# 日本寺ニュースレター



Nipponji news letter

2020年（令和2年）夏号  
（公財）国際仏教興隆協会

## 新型コロナ禍のインドとブッダガヤ



大菩提寺(大塔)参拝の間隔を開けるためにテープが貼られている

平素はインド・ブッダガヤ印度山日本寺、並びに当協会の活動にご理解ご支援を賜り感謝申し上げます。  
令和の呼称がようやく定着した本年1月、はじめて耳にした「新型コロナウイルス」の名は、慣れるよりも早く瞬く間に世界中を席捲する事態となりました。ことインドでも例外ではありません。すでに1月中旬にはその名称よりも早くその急速な症状進行が報じられはじめており、それが新種の感染症であることは、1月下旬に報告されています。そのため、広範な国境線をもつインドにあってとりわけ世界各国からの巡礼訪問が絶えないブッダガヤに対して、行政は早くから警戒の通知を出しており、また早め早めの対策を実施してまいりました。

インド国内全体で1日1万人以上の感染者が確認されていた中で、対策の迅速さか仏のご加護か幸いなことにブッダガヤ郡区では、地元から首都圏への出稼ぎ者で送還された者1名の感染が6月21日に確認されるまでは、感染者を出しておりませんでした。ガヤ駅のある人口60万人を超えるガヤ市・特別区にいたっても同様にそれまでは僅かに数人の感染者でした。ビハール州全38県・総人口1億2500万余り、ガヤ県全4郡400万の中にあって、これがいかに驚異的な数字か、お分かり頂けると存じます。

過去の幾度にもわたるこの地域のコレラや天然痘、デング熱等の感染症の歴史を振り返るとき、不遜ではありますが、当協会が日本寺を拠点に半世紀前から現地で行ってきた光明施療院の施薬を含む完全無料診療や防疫思想の啓蒙という実践、菩提樹学園の丁寧かつ高度な無料教育の成果か、と思わずにはられません。言い換えれば、皆様からお預かりしたご功德のお蔭様に他なりません。有り難いこととございます。

ブッダガヤの新型コロナウイルス感染状況は、大事には至っていないものの、前述のように、地元ビハール州から国内各大都市圏へ出稼ぎに出て、ロックダウンの煽りを受けて失業した者約3,000万人の出身地送還が本格化し、7月以降感染者が増えたため、7月16日～31日までビハール州全域の再ロックダウンが7月14日に発表されました。

そして、尚も避けがたい現実、日本寺の福祉事業が対象としている、社会格差・経済格差のどん底に置き去られた、また眼を離せばすぐに置き去られていく貧困の人たちです。それゆえに私ども日本寺の事業は決して気を緩める訳には参りません。教育や保健防疫思想の普及と実践は一種の社会改革でもあり、その定着までに長い時間が掛りますが、その効果には無駄が無く、そして、いつまでも続きます。

このような時だからこそ、引き続きのご支援を切にお願い申し上げます。

### 大菩提寺は2020年6月10日参拝者受け入れ再開の後、再び閉鎖

2020年3月22日以降閉鎖していた世界遺産の大菩提寺(大塔)は、6月10日、朝・夕の数時間の参拝者の受け入れを再開いたしました。参拝に際しては、「入場時の消毒」「マスクの着用」「それぞれの参拝者の間隔を開けること」「大塔内部(チャイティア)の参拝は一度に10人まで」などの感染予防のためのガイドラインが出されました。しかし、その後、7月16日～31日再度の閉鎖となりました。



法律の改正や医師の死亡などにより、従来の臨床診療活動から保健衛生指導中心の活動への移行について関係方面と協議を重ねてまいりましたが、この度、まず菩提樹学園の園児や保護者を対象とした保健衛生指導を行っていくことと致しました。園児への給食やビタミン剤の投与、健康診断、保護者たちへの保健相談等を担ってまいります。

また、拡大を続けている新型コロナウイルスの感染予防のため、今まで以上の手洗いの強化指導と登園時の検温を実施し、加えて周辺の各小学校に対して、手洗いによる感染予防の推進のための石鹸の配布を行います。現地ではアルコール消毒が一般的でなく、受入れには様々な困難が予想されるため、現場スタッフとも相談の上、今回は石鹸での手洗い督励により、感染予防を指導していくことに致しました。

尚、石鹸の配布先については、園児たちが住む日本寺周辺の村々には下水インフラが施されていないため、石鹸の使用が環境汚染につながり得る点を考慮し、それらインフラが整っているので学校施設に配布と致しました。

「なぜ、手洗いが必要なのか」「病気にならないために何をすべきか」など、知育・食育・保健の普及に努めてまいります。

光明施療院の新たな活動に対して、引き続きまして皆様から温かいご支援を心よりお願い申し上げます。



『外出する時はマスクをしよう』と書かれたビハール州政府による感染予防ポスター  
左上は、ビハール州首相 Nitish Kumar (ニティシュ कुमार)氏  
(<http://statehealthsocietybihar.org/corona/>より引用)



デザイナーブランドSwaroop制作の感染予防ポスター

## 菩提樹学園

## ■ 3ヶ月以上に及ぶ休園 ■

菩提樹学園は、新型コロナウイルス感染拡大による政府指示を受け、2020年3月16日より休園となりました。その後の度重なるロックダウン延長により、現在まで3か月以上の休園を余儀なくされております。休園により年長組33名の卒園式、入園前クラスから年少組への入園が決まった35名の入園式が行えず、更には卒園児の卒園後の進路の選定ができない状況です。

6月1日以降、政府による段階的な制限解除が実施されましたが、学校等の教育施設は2020年6月末時点では、7月末まで休園とされました。更にビハール州は7月16日～31日まで再びロックダウンとなり、8月の再開を予定していましたが、休園が延長される可能性もでてきました。再開の後には、手洗いの強化、登園時の検温、また放課後の教室の消毒を行い、感染予防対策を行ってまいります。

この休園による学習の遅れは、小学校の入学を目指す年長組にとって、小学校入学に必須の学力の修得が特に難問で、何とかこの遅れを取り戻すべく、今後は補習などの学習支援を視野に入れて子供たちのケアを行っていく予定です。

### 3月8日、菩提樹学園ホーリー

ホーリーは、春の訪れを祝うヒンドゥー教のお祭りです。老若男女、色粉や色水や掛け合ってお祝います。



先生・駐在僧も色粉まみれに



卒園生も参加し大はしゃぎ

## 2020年12月8日、印度山日本寺成道会・結集・IBOS落慶式延期

新年号で北河原竺主からご案内いただきました成道会法要、佐々木閑先生ご講演の結集、同時開催のIBOSの落慶式は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑みて本年の開催は中止し、来年以降に延期させていただくことをご案内申し上げます。何卒ご理解ご了承をいただけますようお願い申し上げます。

### 日本寺

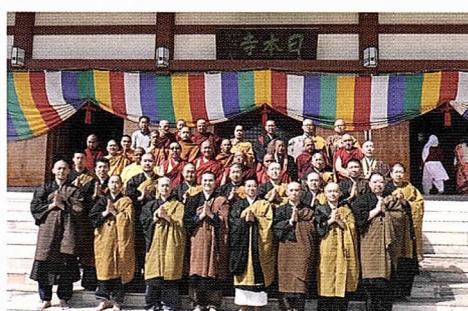
### ■ 2020年7月31日まで閉鎖 ■

日本寺は現地隣山寺院の申し合わせにより、菩提樹学園同様に2020年3月21日より閉鎖しております。

6月1日以降、インド国内のロックダウンは、地域の感染状況により徐々に制限が解除された中、日本寺他近隣寺院の再開については、ブッダガヤの各国寺院で構成される隣山会会合に於いて協議され、大菩提寺(6月10日再開)を除く隣山寺院一致して7月31日までの閉鎖が決定されました。鎖国的な入国制限がされている現在、どこの寺々でも実際的な経営者・管理権者である外国人が入国できず、適切に管理運営ができないこと、航空路・鉄道の閉鎖続行やバス路線運休など一般の交通が制限されている現状を踏まえたものです。

その後、ビハール州の7月16日～31日までの再ロックダウンが7月14日に発表されたため、8月以降の再開についても不透明となってまいりました。

### ■ 日本寺涅槃会法要 ■



### 浄土宗東京教区江東組青年会・正覺院副住職 安孫子稔章

2020年2月12日から20日にかけて、我々浄土宗東京教区江東組青年会では、「釈尊七大聖地巡礼の旅」と題し、18名の青年僧侶でインド仏跡巡りの旅をいたしました。普段日本では決して目にすることのないような風景に出会い大いに刺激を受け、また釈尊の足跡を肌で感じることの出来た大変有意義で貴重な9日間でした。

その最中の2月15日、ブッダガヤ印度山日本寺御本堂にて、涅槃会法要を執り行いました。当日朝、まずは大菩提寺に皆で参拝。各国の仏教徒の方々が塔の下へ一同に集まり、一心不乱に礼拝を捧げる姿を目にし、まさに聖地に来たという実感がこみ上げると同時に、世界中の人々が心一つに繋がることのできる仏教の偉大さを改めて思い知った瞬間でした。気持ちを引き締めて、菩提樹下にて勤行させていただきました。その後、日本寺へ伺い、いよいよ涅槃会法要の開式です。釈尊への報恩感謝の気持ちを込め、一生懸命お念仏をお称えしました。釈尊成道の地で涅槃会正當の日にお勤めさせていただけるご縁に、感謝の念で胸がいっぱいになりました。近隣のチベット仏教・上座部仏教寺院の僧侶の方々にも御随喜いただき、無事厳かにお勤めすることができました。

法要後は一緒に供餐(サンガダーナ)の席を設け、短い時間でしたが貴重な国際交流を果たすこともでき、我々青年僧侶にとってはかけがえのない経験となった一日でした。素晴らしいご縁を提供していただいた日本寺様にこの場を借りて心より御礼申し上げます。

### 「COVID-19 自宅隔離中であることを示すステッカー」

インドでは、海外からの帰国者や感染の疑いがある者が、自宅で隔離中であることを示すステッカーを玄関前に貼られます。ステッカーには、隔離の期間、氏名、住所、家族の人数が記入されます。このことによって近所の住民から、感染者だと誤解されたり、ステッカーを撮影しソーシャルメディアに掲載されたりと隔離対象者が非難されるという被害の元にもなっています。



(<https://www.bbc.com/news/world-asia-india-52201706>より引用)

2020年1月28日～3月14日までの間、臨時に駐在僧として日本寺に赴任していただいた番地章夫師（浄土宗）が離任致しました。

番地師には、法務や参拝者の対応など駐在業務の傍ら、日本寺の美化に努めて下さいました。

この時に働いてくれた臨時スタッフは、菩提樹学園の卒園生で、こちらの意図をよく察し、効率よく先へ先へと仕事をこなしてくれました。作業完了後、日本寺に隣接するブータン寺の門前で低いテーブルに小物を置いて商いを始めた彼の行動力に、番地師は力強いチャレンジ精神を感じ取ったそうです。

また日課である大菩提寺への参拝の際に、以前から目にしていた大塔管理委員会の主要スタッフが、菩提樹学園の卒園生だったことを知ったそうです。

改めて菩提樹学園での経験が、その後の生活のもとになっているのだろうと感じたとのこと。

更に、ブッダガヤの開発が急速に進み、町が拡大していく中、農村と町のへり（境界）に2月に建立された寺院の活動が、住民の安全や農村と町を繋ぐという伝統的な仏教の役割を果たしていることを改めて実感したそうです。

番地師は、2001年の駐在離任後も年に数回、ブッダガヤを訪れていますが、普段の短期滞在では知る事のない瀬戸際に接しとても有意義だったとお話下さいました。

尚、今回の美化のための一部費用は、番地師からご寄附下さいました。心より感謝申し上げます。



### 日本寺駐在僧を募集しております

1ヶ月～2年・僧籍保有者・宗派問いません。お釈迦様の聖地ブッダガヤで経験を積んでみませんか。詳細、元駐在僧による駐在記等WEBサイトに掲載しております。お問合せ等は事務局まで。

### ■ 釈尊とマザーの死を待つ家、「いのち」を見つめる旅のすすめ ■

(公財)国際仏教興隆協会事務総長 佐藤雅彦

あれは何年前だったか、コルカタの空港のエントランスを外に出ると、一枚のボードが目飛び込んできた。それははっきりと日本語（カタカナ）で「マザーテレサの死を待つ家・ボランティア・ツアー」と書かれてあった。瞬時、死を待つ家は、有名だけれど日本人用のボランティア・ツアーまでであることに驚かされた。私自身、大学でターミナルケアや死の看取りに関連する講義を担当するだけに、非常に興味深かった。

それを見てから間もなく、ブッダガヤの日本寺をお参りする旅に、このマザーテレサの死を待つ家に立ち寄るコースを提案し実現した。マザーの家は、コルカタの空港からさほど遠くはないところになり、今は、マザーが実際に活動をしていた頃とは、かなり変貌しているものの、この場所で、たった一人で、しかも路上で、死を迎えそうな人を引き取っては、最期の時をあたたく看取ろうとする活動の拠点として機能してきた空気を、今も実感することはできる。



今般の新型コロナウイルスの影響は、こんなに豊かな国の人々を、これに感染すると医療従事者の見守りがあるとはいえ、たった一人で死んでいかなければならない現実を突きつけた。大切な人が身近にいても、顔を見れない、手も握れないという現実のすがたに、改めて「いのち」の尊さを学ぶ機会を与えている。インドの聖地といわれる場所には、混とんとした空気の中、地に頭を伏して礼拝をする人、手を合わせる人、命に向き合う人々の姿に遭遇することができる。しかもこの地で、釈尊は教えを説かれた。

「終活」をテーマにした情報が錯綜する今日の日本の社会で、そしてコロナ感染症を介して、真実の「いのち」を見つめ、問いかけたい方々に、ぜひともインドブッダガヤの日本寺へのお参りをおすすめしたいと思うものだった。

合掌



※マザーテレサの「死を待つ家」を訪問する企画は、今後のご案内を予定しています。

## ■ 落慶式の延期 ■

建設中であった仏教学東洋学研究所図書館棟は、2020年12月8日の落慶に向けて、3月に蔵書の整理、内装の整備のために渡印を予定致しておりました。しかし、3月2日インド政府が、新型コロナウイルス感染拡大防止のために外国人の入国制限を開始し、ビザの発給停止により、渡印することができませんでした。

本年の落慶は延期となりましたが、感染状況が落ち着き次第、開館に向けての準備を行ってまいります。

## 役員会報告

## ■ 役員会開催報告・役員改選 ■

## 【定例役員会報告】

- ・2020年3月13日 第25回理事会…令和2年度予算案・事業計画案の承認。
- ・2020年5月28日 第26回理事会…令和元年度決算・事業報告の承認。
- ・2020年6月14日 評議員選定委員会…評議員6名の選任。
- ・2020年6月15日 第13回評議員会…令和元年度決算の承認。理事・監事の選任。
- ・2020年6月15日 第27回理事会…代表理事(理事長)の選任。
- ・2020年7月6日 評議員選定委員会…評議員1名の選任。

尚、評議員選定委員会を除く上記役員会につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、書面決議による役員会の実施となりました。「令和2年度予算・事業計画」「令和元年度決算・事業報告」については、当協会webサイトに掲載いたしております。ご高覧くださいますようお願い申し上げます。尚、これらの書類を書面での高覧をご希望の方には郵送させていただきます。事務局までご用命ください。

## 【評議員・理事・監事の改選】

任期満了に伴い、下記評議員（7名）・理事（10名）・監事（3名）が選任され、就任の承諾を得ました。また、代表理事(理事長)には、引続き中村康雅が選任されました。以下敬称略・50音順。

## 評議員（任期4年）

- |             |                   |        |                  |
|-------------|-------------------|--------|------------------|
| (新任)・木全 和博  | (公財)全日本仏教会 事務総長   | ・岸田 一雄 | 真如苑 教務長補佐        |
| ・丹羽 義昭      | (公社)日本仏教保育協会 執行理事 |        |                  |
| (重任)・小山 敬次郎 | 元経済団体連合会 専務理事     | ・佐藤 良純 | 大正大学 名誉教授        |
| ・篠田 節子      | 公益社団法人全日本婦人連盟 監事  | ・古澤 義浩 | (公財)仏教伝道協会 伝道部部长 |

## 理事（任期2年）

- |            |                   |        |                   |
|------------|-------------------|--------|-------------------|
| (新任)・加藤 朝胤 | 薬師寺管主             | ・谷 晃仁  | 全日本仏教青年会 理事長      |
| ・千坂 成也     | 臨濟宗 瑞巖寺 執事長       | ・本多 端子 | (公社)全日本婦人連盟 理事長   |
| ・安孫子 虔悦    | 浄土宗 正覺院住職、当協会財務部長 |        |                   |
| (重任)・佐藤 雅彦 | 浄土宗 浄心寺住職、当協会事務総長 | ・高輪 真澄 | (公社)日本仏教保育協会 副理事長 |
| ・高山 久照     | (公社)日本仏教保育協会 理事長  | ・中村 康雅 | 浄土宗 大樹寺住職、当協会理事長  |
| ・丸山 良徳     | 念報眞教金剛寺 執事長       |        |                   |

## 監事（任期2年）

- |            |              |        |       |
|------------|--------------|--------|-------|
| (重任)・小澤 昌弘 | 臨濟宗 東光禅寺 前住職 | ・木村 匡成 | 公認会計士 |
| ・鎌田 勇夫     | 弁護士          |        |       |

## 【退任された役員】

- |           |                    |        |                 |
|-----------|--------------------|--------|-----------------|
| 評議員・長塚 充男 | 真如苑 元教務長           | ・戸松 義晴 | (公財)全日本仏教会 元理事長 |
| ・緑谷 一雄    | (公社)日本仏教保育協会 元理事長  |        |                 |
| 理事・末廣 久美  | (公社)全日本仏教婦人連盟 元理事長 | ・新田 孝裕 | 瑞巖寺 元執事長        |
| ・倉島 隆行    | 全日本仏教青年会 元理事長      |        |                 |

評議員・理事として当協会の運営にご高導くださいましたことに一同、衷心より御礼申し上げます。

ご志納者ご芳名 皆様からのご支援に心より感謝申し上げます。敬称略(2019. 12/1~2020. 3/31まで)

..... 100万円以上.....  
**一般寄附**

**東京都**  
江東区 長専院  
渋谷区 (公社)全日本  
仏教婦人連盟  
立川市 真如苑  
武蔵野市 光専寺  
**奈良県**  
奈良市 大本山薬師寺

..... 100万円以上.....  
**菩提樹学園**

**京都府**  
宇治市 林 猛雄

**護持会費**

..... 10万円以上 .....

**岩手県**  
盛岡市 櫻井澄男  
**宮城県**  
塩竈市 東園寺  
**東京都**  
港区 梅窓院  
文京区 傳通院  
大田区 深井敏江  
**神奈川県**  
鎌倉市 臨濟宗円覚寺派  
**滋賀県**  
野洲市 錦織寺  
**京都府**  
京都市 永観堂禅林寺  
**大阪府**  
八尾市 平川商事(株)  
**奈良県**  
吉野町 金峯山修験本宗  
**福岡県**  
福岡市 (株)はせがわ

.....

**北海道**  
札幌市 丸山一立  
**宮城県**  
仙台市 星 松岳  
多賀城市 不磷寺  
**福島県**  
須賀川市 長祿寺  
**茨城県**  
取手市 (社福)共生保育園  
取手市 本願寺  
**栃木県**  
日光市 桑門秀光  
栃木市 近龍寺  
**群馬県**  
太田市 稲村博道  
桐生市 淨運寺  
**埼玉県**  
さいたま市 河野亮仙  
川越市 笠松猷一  
川越市 蓮馨寺  
東松山市 清涼山曹源寺  
熊谷市 鈴木英全

**千葉県**  
千葉市 光明寺  
市川市 浄光院みどり幼稚園  
佐倉市 寶樹院  
**東京都**  
千代田区 神田寺  
千代田区 松元 崇  
港区 浄土寺  
港区 櫻井英幸  
台東区 日照山長明寺  
文京区 浄心寺  
北区 金剛寺  
北区 寿徳寺  
葛飾区 金蓮院  
葛飾区 滝沢幹雄  
墨田区 古屋良子  
江戸川区 明福寺  
江戸川区 泉福寺  
江東区 眞尾 茂  
大田区 自性院  
目黒区 岡田カヨ子  
目黒区 千澤昭彦  
目黒区 澤 利明  
世田谷区 無量寺  
世田谷区 駒澤大学高等学校  
新宿区 西光庵  
新宿区 真清浄寺  
中野区 岡本照代  
杉並区 光明院  
豊島区 小野塚幾澄  
豊島区 小山敬次郎  
豊島区 全昌院  
練馬区 佐藤蓮洋  
武蔵野市 月窓禅寺  
調布市 昌翁寺  
調布市 深大寺  
府中市 山尾 崇  
小平市 岡野 昭  
東村山市 朝木宗佑  
立川市 長塚充男  
立川市 伊藤真聰  
八王子市 極楽寺  
八王子市 関谷敷・正代  
**神奈川県**  
川崎市 川崎大師平間寺  
川崎市 藤田隆乗  
川崎市 熊坂正  
川崎市 熊坂加代子  
横浜市 孝道山本仏殿  
横浜市 良忠寺  
横浜市 光明寺  
横浜市 善光寺  
横浜市 薬王寺  
横浜市 太田雍子  
横浜市 善昌寺  
横須賀市 飯塚博道  
伊勢原市 大宝寺  
茅ヶ崎市 白峰寺  
大磯町 川瀬 忍  
**新潟県**  
長岡市 阿部昭次

新潟市 高木喜一郎  
**山梨県**  
身延町 松本光華  
**長野県**  
上田市 近藤博道  
東御市 五十嵐隆暁  
松本市 玄向寺  
松本市 全久院  
松本市 正麟寺  
塩尻市 西福寺  
駒ヶ根市 安楽寺  
**岐阜県**  
本巣市 慶円寺  
高山市 大下大圓  
**静岡県**  
沼津市 勝又英子  
沼津市 真楽寺  
三島市 坂井則子  
三島市 横田睦子  
富士市 篠田節子  
富士市 八木やち代  
熱海市 海福寺  
伊東市 野村道子  
静岡市 松下純子  
焼津市 光心寺  
焼津市 教念寺  
函南町 鎌田シゲ子  
函南町 小田切早苗  
長泉町 稲田ときえ  
**愛知県**  
名古屋市 今井有訓  
名古屋市 平田院  
津島市 宇治谷 顕  
**三重県**  
松阪市 樹敬寺  
**滋賀県**  
大津市 園城寺  
大津市 西福寺  
大津市 渡部光臣  
守山市 宮本浩次  
守山市 宮本典子  
草津市 佐々木昭道  
東近江市 内田卓也  
**京都府**  
京都市 細見昌代  
京都市 番地章夫  
京都市 寂光院  
京都市 上品蓮台寺  
京都市 丸西宗教織物(株)  
京都市 妙林寺  
京都市 壬生寺  
京都市 (株)安藤  
京都市 浅井光雲  
京都市 悲田院  
京都市 総本山妙満寺  
京都市 (株)宇佐美修徳堂  
京都市 栗本徳子  
京都市 南禅寺  
京都市 杉江幸彦  
京都市 向西寺  
京都市 霊雲院

城陽市 麴谷 漣  
城陽市 北尾順彦  
宇治市 山瀬拳吾  
長岡京市 乗願寺  
福知山市 森 泰健  
**大阪府**  
大阪市 真言宗国分寺派  
大阪市 鳥居弘昌  
大阪市 平岡英信  
大阪市 稲垣佳子  
大阪市 井桁雄弘  
大阪市 濱田友子  
大阪市 荒井とよ子  
枚方市 小川眞乗  
大東市 祐照寺  
交野市 堀本賢順  
東大阪市 堀内ゆり子  
和泉市 山本淳一  
**兵庫県**  
神戸市 福祥寺  
神戸市 藤井俊宏  
宝塚市 合同会社テラス  
姫路市 河野太通  
加東市 清水寺  
**奈良県**  
奈良市 大安寺  
奈良市 矢追秀敏  
奈良市 (社福)楽慈会  
奈良市 興福寺  
奈良市 備近畿日本ツーリス  
スト関西奈良支店  
奈良市 元興寺  
奈良市 圓照寺  
奈良市 野原軸子  
奈良市 山崎英治  
奈良市 井上正行  
大和郡山市 藤川保雄  
王寺町 中寫 大  
斑鳩町 法隆寺  
斑鳩町 吉田昌功  
三郷町 植野忠治  
久米南町 浄土院  
**岡山県**  
倉敷市 圓乘院  
**広島県**  
福山市 野崎昌子  
三原市 浅野善教  
江田島市 作 ヨシ子  
**山口県**  
下関市 三蓮寺  
山口市 法明院  
**愛媛県**  
今治市 一郡山野間寺  
**高知県**  
高知市 花岡正覚  
**福岡県**  
福岡市 高野美恵子  
宗像市 埜村要道  
太宰府市 石田琳彰  
**佐賀県**  
多久市 木下義康

基山町 吉祥寺  
**長崎県**  
長崎市 別府節子  
諫早市 宮崎清彰

**一般寄付**

..... 10万円以上 .....

**大阪府**  
大阪市 念法眞教  
**奈良県**  
奈良市 神奈我良

.....

**宮城県**  
利府町 天祥寺  
仙台市 桃源院  
**東京都**  
文京区 永瀬富士子  
文京区 西教寺  
北区 與楽寺  
足立区 島崎義宣  
葛飾区 香念寺  
墨田区 正福寺  
江東区 赤堀菊枝  
江東区 安孫子虔悦  
品川区 常行寺  
大田区 河原時子  
渋谷区 飯田順子  
中野区 内田洋一  
**神奈川県**  
横浜市 安藤久仁夫  
横須賀市 飯塚博道  
横須賀市 逸見道郎  
横浜市 林田眞成  
綾瀬市 安藤昌信  
**長野県**  
塩尻市 興龍寺  
**静岡県**  
富士市 篠田節子  
静岡市 中村康雅  
**愛知県**  
稲沢市 大塚寿美恵  
**滋賀県**  
大津市 浜田泰介  
大津市 渡部光臣  
大津市 山本陽子  
守山市 宮本浩次・典子  
草津市 寺澤 岳司  
甲賀市 溪 恒雄  
**京都府**  
京都市 泉涌寺  
精華町 平松和子  
**大阪府**  
大阪市 平山眞史  
**奈良県**  
奈良市 法華寺  
奈良市 樋口教香  
奈良市 松井みち子

**仏教学東洋学研究所**

**岩手県**  
盛岡市 櫻井澄男

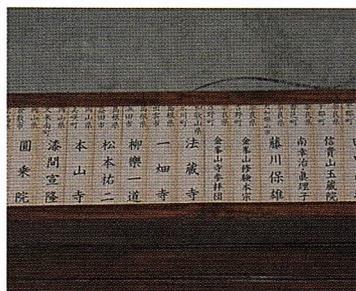
東京都 北区 神奈川県 横浜市 横須賀市 静岡県 富士市 京都府 京都市 奈良県 奈良市	立川市 神奈川県 川崎市 川崎市 川崎市 横浜市 横浜市 横須賀市 伊勢原市 長野県 松本市 本巣市 岐阜県 岐阜市 美濃市 静岡県 伊豆の国市 富士市 小山町 三重県 紀北町 滋賀県 大津市 京都府 京都市 京都市 城陽市 宮津市 大阪府 大阪市 大阪市 吹田市 東大阪市 奈良県 奈良市 奈良市 平郡町 愛媛県 松山市	千葉義坦 伝える力 研究所(株) 熊坂 正 熊坂加代子 堀口 助 林 葎子 飯塚博道 大谷三春 荻須眞教 慶円寺 松本香代子 篠田節子 山口和夫 橋本武彦 渡部光臣 細見昌代 栗本徳子 麴谷 澗 松本慧光 辻村恵子 荒井とよ子 江崎道子 善村文瑞 山崎英治 平田信利 小野博子 寺川勲雄	福岡県 小竹町 長崎県 長崎市 <hr/> <b>光明施療院</b> <hr/> 宮城県 塩竈市 茨城県 取手市 千葉県 船橋市 東京都 江東区 江東区 北区 昭島市 神奈川県 横須賀市 小田原市 川崎市 川崎市 山梨県 北杜市 長野県 松本市 岐阜県 美濃市 静岡県 小山町 富士市 ? 愛知県 名古屋市 京都府 京都市 京都市 城陽市 大阪府 高槻市	荒井とよ子 兵庫県 香芝市 福岡県 福岡市 <hr/> <b>古本募金</b> <hr/> 埼玉県 入間市 千葉県 佐倉市 東京都 港区 世田谷区 杉並区 練馬区 神奈川県 横浜市 福井県 勝山市 山梨県 甲府市 静岡県 伊豆の国市 愛知県 刈谷市 京都府 木津川市 大阪府 西宮市 川西市 奈良県 奈良市 広島県 尾道市	埼玉県 久喜市 久喜市 千葉県 富津市 ? 東京都 北区 江戸川区 江戸川区 品川区 渋谷区 渋谷区 江東区 神奈川県 横浜市 長野県 松本市 愛知県 名古屋市 ? 京都府 京都市 奈良県 奈良市 奈良市 奈良市 記載なし	渡邊和泉 律子 深廣寺 慈本寺 千葉教区浄土宗青年会 堀越幸子 鶴若麻里 天沢容子 勝田順子 花嶋恵美 高木むつみ 浄土宗江東組青年会 浄泉寺 鈴木ふじ子 井坂津矢子 後藤美津子 東福寺 興福寺 薬師寺 堀内紀子 清澤寺
東京都 北区 神奈川県 横浜市 横須賀市 静岡県 富士市 京都府 京都市 奈良県 奈良市	立川市 神奈川県 川崎市 川崎市 川崎市 横浜市 横浜市 横須賀市 伊勢原市 長野県 松本市 本巣市 岐阜県 岐阜市 美濃市 静岡県 伊豆の国市 富士市 小山町 三重県 紀北町 滋賀県 大津市 京都府 京都市 京都市 城陽市 宮津市 大阪府 大阪市 大阪市 吹田市 東大阪市 奈良県 奈良市 奈良市 平郡町 愛媛県 松山市	千葉義坦 伝える力 研究所(株) 熊坂 正 熊坂加代子 堀口 助 林 葎子 飯塚博道 大谷三春 荻須眞教 慶円寺 松本香代子 篠田節子 山口和夫 橋本武彦 渡部光臣 細見昌代 栗本徳子 麴谷 澗 松本慧光 辻村恵子 荒井とよ子 江崎道子 善村文瑞 山崎英治 平田信利 小野博子 寺川勲雄	福岡県 小竹町 長崎県 長崎市 <hr/> <b>光明施療院</b> <hr/> 宮城県 塩竈市 茨城県 取手市 千葉県 船橋市 東京都 江東区 江東区 北区 昭島市 神奈川県 横須賀市 小田原市 川崎市 川崎市 山梨県 北杜市 長野県 松本市 岐阜県 美濃市 静岡県 小山町 富士市 ? 愛知県 名古屋市 京都府 京都市 京都市 城陽市 大阪府 高槻市	荒井とよ子 兵庫県 香芝市 福岡県 福岡市 <hr/> <b>古本募金</b> <hr/> 埼玉県 入間市 千葉県 佐倉市 東京都 港区 世田谷区 杉並区 練馬区 神奈川県 横浜市 福井県 勝山市 山梨県 甲府市 静岡県 伊豆の国市 愛知県 刈谷市 京都府 木津川市 大阪府 西宮市 川西市 奈良県 奈良市 広島県 尾道市	埼玉県 久喜市 久喜市 千葉県 富津市 ? 東京都 北区 江戸川区 江戸川区 品川区 渋谷区 渋谷区 江東区 神奈川県 横浜市 長野県 松本市 愛知県 名古屋市 ? 京都府 京都市 奈良県 奈良市 奈良市 奈良市 記載なし	渡邊和泉 律子 深廣寺 慈本寺 千葉教区浄土宗青年会 堀越幸子 鶴若麻里 天沢容子 勝田順子 花嶋恵美 高木むつみ 浄土宗江東組青年会 浄泉寺 鈴木ふじ子 井坂津矢子 後藤美津子 東福寺 興福寺 薬師寺 堀内紀子 清澤寺
東京都 北区 神奈川県 横浜市 横須賀市 静岡県 富士市 京都府 京都市 奈良県 奈良市	立川市 神奈川県 川崎市 川崎市 川崎市 横浜市 横浜市 横須賀市 伊勢原市 長野県 松本市 本巣市 岐阜県 岐阜市 美濃市 静岡県 伊豆の国市 富士市 小山町 三重県 紀北町 滋賀県 大津市 京都府 京都市 京都市 城陽市 宮津市 大阪府 大阪市 大阪市 吹田市 東大阪市 奈良県 奈良市 奈良市 平郡町 愛媛県 松山市	千葉義坦 伝える力 研究所(株) 熊坂 正 熊坂加代子 堀口 助 林 葎子 飯塚博道 大谷三春 荻須眞教 慶円寺 松本香代子 篠田節子 山口和夫 橋本武彦 渡部光臣 細見昌代 栗本徳子 麴谷 澗 松本慧光 辻村恵子 荒井とよ子 江崎道子 善村文瑞 山崎英治 平田信利 小野博子 寺川勲雄	福岡県 小竹町 長崎県 長崎市 <hr/> <b>光明施療院</b> <hr/> 宮城県 塩竈市 茨城県 取手市 千葉県 船橋市 東京都 江東区 江東区 北区 昭島市 神奈川県 横須賀市 小田原市 川崎市 川崎市 山梨県 北杜市 長野県 松本市 岐阜県 美濃市 静岡県 小山町 富士市 ? 愛知県 名古屋市 京都府 京都市 京都市 城陽市 大阪府 高槻市	荒井とよ子 兵庫県 香芝市 福岡県 福岡市 <hr/> <b>古本募金</b> <hr/> 埼玉県 入間市 千葉県 佐倉市 東京都 港区 世田谷区 杉並区 練馬区 神奈川県 横浜市 福井県 勝山市 山梨県 甲府市 静岡県 伊豆の国市 愛知県 刈谷市 京都府 木津川市 大阪府 西宮市 川西市 奈良県 奈良市 広島県 尾道市	埼玉県 久喜市 久喜市 千葉県 富津市 ? 東京都 北区 江戸川区 江戸川区 品川区 渋谷区 渋谷区 江東区 神奈川県 横浜市 長野県 松本市 愛知県 名古屋市 ? 京都府 京都市 奈良県 奈良市 奈良市 奈良市 記載なし	渡邊和泉 律子 深廣寺 慈本寺 千葉教区浄土宗青年会 堀越幸子 鶴若麻里 天沢容子 勝田順子 花嶋恵美 高木むつみ 浄土宗江東組青年会 浄泉寺 鈴木ふじ子 井坂津矢子 後藤美津子 東福寺 興福寺 薬師寺 堀内紀子 清澤寺

## ご芳名の掲示・感謝状の拝呈について

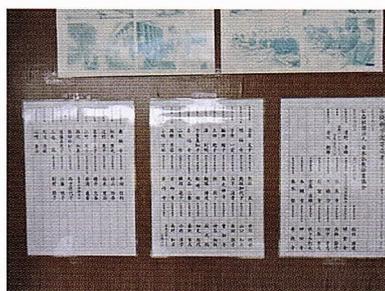
ご寄附を賜りました方々のへの感謝の意を表しまして、ご寄附下さった方のご芳名を各施設に掲示させていただきます。(スペースの都合上1万円以上のご寄附に限らせて頂いております)

また、10万円以上のご寄附くださった方に「感謝状」を拝呈させていただきます。

### 日本寺本堂



### 菩提樹学園



### 光明施療院



# ✿ご支援のお願い✿



当協会ではインド・ブッダガヤへの更なる福祉活動の推進を図るため、印度山日本寺運営をご支援いただく護持会員、ならびに菩提樹学園、光明施療院の運営をご支援いただくサポートプログラムを設けております。

「お釈迦様の聖跡を護る」活動や「ブッダガヤの子どもたちの明るい未来」のために、どうか皆さまの温かいご支援をいただきたくお願い申し上げます。

## ◆ 護持会員のご案内 ◆

年会費 個人会員:5,000円 法人会員:10,000円 維持会員:100,000円(いずれも1口以上)

## ◆ ヒューマンサポートプログラムのご案内 ◆

・菩提樹学園年間ペアレントメンバー :10,000円 ・光明施療院サポート:10,000円

・園児1人の文具代3,000円

・クラス(35名)分の給食代1,000円

プログラムの他、任意の金額でご寄附をお願いしております。

Webサイトからクレジットカードでのご寄附も可能です。



▽ 郵便振替 ▽ 00110-4-5493 加入者名 公益財団法人国際仏教興隆協会

**(公財)国際仏教興隆協会へのご寄附・会費は、  
税制上の優遇措置の対象となります。**

【個人様の場合】

「税額控除」又は「所得控除」の対象となります。

【法人様の場合】

損金算入が認められます。

遺言による  
ご寄附

香典・御花料  
からのご寄附

相続による  
ご寄附



**これらのご寄附には相続税がかかりません**

詳しくはwebサイトをご確認ください

## ご自宅での写経のご案内

祐天寺様ご協力のもと開催の写経会は、  
新型コロナウイルス感染拡大の為、現在中止  
しておりますが、ご自宅で写経していただ  
けるキットをお送りしております。



一文字ずつお経を書き写すことは、心の安  
らぎにつながります。ご供養、ご祈願の内容をお書きいただきます。

写経は、お釈迦様お悟りの地、ブッダガヤ大菩提寺での納経奉告  
後、日本寺に奉納申し上げます。

【納経料】写経会中止期間中は1,000円にて承ります。

【お申込み】事務局まで、メール・お電話にてお申込みください。

写経会再開の決定はwebサイトにてご案内いたします

公益財団法人国際仏教興隆協会

webサイト <http://www.ibba.jp/> 随時更新中！

印度山 日本寺

検索



@indo\_nipponji



ibbajp

フェイスブック・ツイッターも更新中



事務局より

日本寺ではご参拝時にご法要をお勤  
めいただけます。その際は、事前に  
下記事務所までご連絡いただけます  
ようお願い申し上げます。

編集発行

公益財団法人国際仏教興隆協会

〒153-0061

東京都目黒区中目黒5-24-53

TEL03-3711-7608 FAX03-3711-7673

e-mail: jimukyoku@ibba.jp

<http://www.ibba.jp/>